

# 静岡県月例経済報告

(平成29年5月号)

……平成29年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 493

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成29年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概 況

平成29年3月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、一部に弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、下げ止まっている。

## 需 要 面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(3月)は、百貨店が2か月連続、スーパーが4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、4か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(3月)は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が5か月ぶり、コンビニエンスストアが9か月連続、ドラッグストアが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車が8か月連続、軽自動車が6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総数でも5か月連続で前年実績を上回った。

### ◎住宅建設は、前年を下回った。

分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が2か月ぶり、貸家が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

### ◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(3月)は、4か月連続で前年実績を上回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成29年4月3日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(3月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

## ◎輸出は、持ち直している。

### 輸入は、前年を上回った。

輸出総額（3月）は、原動機が3か月連続、科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、エアコン、二輪自動車類がいずれも3か月連続、自動車が5か月連続、自動車の部分品が7か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（3月）は、紙類及び同製品、原動機で前年実績を下回ったものの、全体では4か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,067億円の輸出超過となった。

## 生産面

### ◎生産は、下げ止まっている。

鉱工業生産指数（2月）は、はん用・生産用・業務用機械が2か月連続、化学が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも6か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が4か月連続、輸送機械が3か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも2か月連続で前年を上回った。また、4か月連続で前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（2月）は、総合では6か月連続で前年水準を下回った。

## 雇用面

### ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（3月）は1.47倍で、前月を0.05ポイント上回り、また、38か月連続で1倍を上回った。なお、4年10か月ぶりに全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、44か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（2月）は、前年を上回った。

## その他

### ◎金融環境は、貸出残高、信用保証金額いずれも前年を上回った。

県内金融機関の貸出残高（3月）は、前年同月比1.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比4.3%増と前年実績を上回った。

### ◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を上回った。

企業倒産（4月）は、件数は23件で前年同月比91.6%増、負債総額は、同 287.5%増と、いずれも前年実績を上回った。

<<県の取組>>

## 【「ふじのくに新商品セレクション」2017 出品募集 】

### 1 要旨

県は、県産農林水産物の魅力を活かした商品をブランド品として表彰する「ふじのくに新商品セレクション」2017への出品を募集しています。 ※ 平成28年度から、食品以外の商品も出品対象

### 2 主な出品条件

- ・主な原材料に県産農林水産物を使用し、商品化後2年以内の加工品であること
- ・食品以外の加工品には、未利用、低利用の県産農林水産物を使用していること
- ・県内に住所又は主たる事務所の所在地を有する者

### 3 応募期限

平成29年7月10日（月）必着

### 4 応募方法

出品票に必要事項を記入の上、  
メール等により静岡県経済産業部マーケティング課に提出



### 5 出品票

静岡県のホームページからダウンロード

(<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-110/shinselection.html>)



### 6 審査会

平成28年9月上旬～中旬（出品商品が多数の場合は、書類による1次審査を実施）

### 7 表彰

最高金賞1点、金賞10点程度

### 8 受賞の特典

- ・受賞商品は報道機関に情報提供するほか、県が作成するパンフレットやホームページで紹介するなど、様々な機会を通じてPRします。
- ・県が実施、参加する展示会や商談会に関して、優先的に情報を提供します。
- ・商品に「ふじのくに新商品セレクション」の受賞マークを表示できます。

### 9 問合せ先・提出先

静岡県経済産業部マーケティング課（〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6）

電話 054-221-3653 FAX 054-221-2698 E-mail : marke@pref.shizuoka.lg.jp

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

3月 = 33,793百万円

\*前年同月比： 0.9%減

(県内3百貨店、130スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は33,793百万円で、前年同月比0.9%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比0.5%減)が2か月連続、スーパー(同1.0%減)が4か月連続でいずれも前年実績を下回ったことから、総合でも4か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、身の回り品(前年同月比0.8%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品(同5.8%減)、家庭用品(同7.1%減)がいずれも4か月連続、飲食物品(同1.0%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.7%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
販売額(百万円)	33,931	31,351	33,979	34,265	42,002	36,340	30,575	33,793
前年同月比(%)	▲2.7	▲3.5	▲1.0	2.5	▲0.9	▲0.3	▲3.1	▲0.9
うち百貨店(%)	▲4.9	▲5.2	▲2.8	▲0.7	▲0.7	0.1	▲3.9	▲0.5
スーパー(%)	▲2.3	▲3.1	▲0.5	3.4	▲0.9	▲0.4	▲2.9	▲1.0
(参考1)全国前年同月比(%)	▲3.6	▲3.2	▲1.0	▲0.3	▲1.3	▲1.1	▲2.7	▲0.8
うち百貨店(%)	▲6.0	▲5.0	▲4.0	▲2.7	▲2.0	▲1.2	▲1.8	▲0.7
スーパー(%)	▲2.6	▲2.3	0.6	1.1	▲0.9	▲1.1	▲3.1	▲0.9
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲2.9	▲3.2	▲0.9	1.4	▲1.9	▲1.9	▲4.7	▲1.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
衣料品	▲6.3	▲5.4	▲2.1	4.9	▲2.6	▲1.2	▲6.9	▲5.8
うち紳士服・洋品	▲2.6	▲4.5	0.5	9.9	1.6	2.9	▲7.0	▲13.6
婦人・子供服・洋品	▲7.4	▲5.3	▲2.5	3.0	▲3.9	▲2.5	▲6.8	▲3.9
身の回り品	▲4.9	▲10.9	▲6.8	▲0.9	0.1	0.2	▲5.4	0.8
飲食物品	▲1.2	▲2.3	0.1	2.8	0.2	0.1	▲2.2	▲1.0
家庭用品	▲6.7	▲6.0	▲6.8	2.8	▲5.0	▲4.3	▲6.7	▲7.1
うち家庭用電気機械器具	▲13.1	▲4.7	9.6	4.5	▲7.4	▲6.0	▲8.6	▲20.2

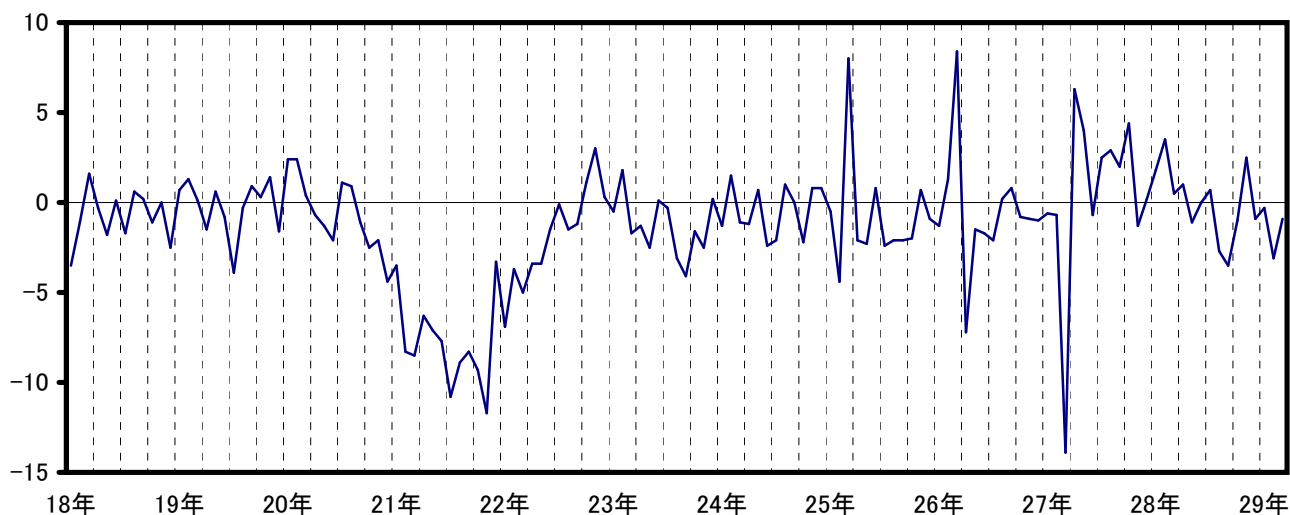
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

3月 = 6,798百万円

\*前年同月比： 0.4%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

3月の県内3百貨店の販売額は6,798百万円で、前年同月比0.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、身の回り品(前年同月比3.0%増)が2か月ぶり、食料品(同0.4%増)が4か月ぶり、雑貨(同14.8%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品(同6.8%減)が17か月連続、家庭用品(同8.7%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
販売額(百万円)	5,008	5,074	6,194	6,522	8,966	6,985	5,327	6,798
前年同月比(%)	▲5.8	▲5.3	▲2.7	▲0.6	▲0.7	0.2	▲3.8	▲0.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.0	▲5.0	▲3.9	▲2.4	▲1.7	▲1.2	▲1.7	▲0.9

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

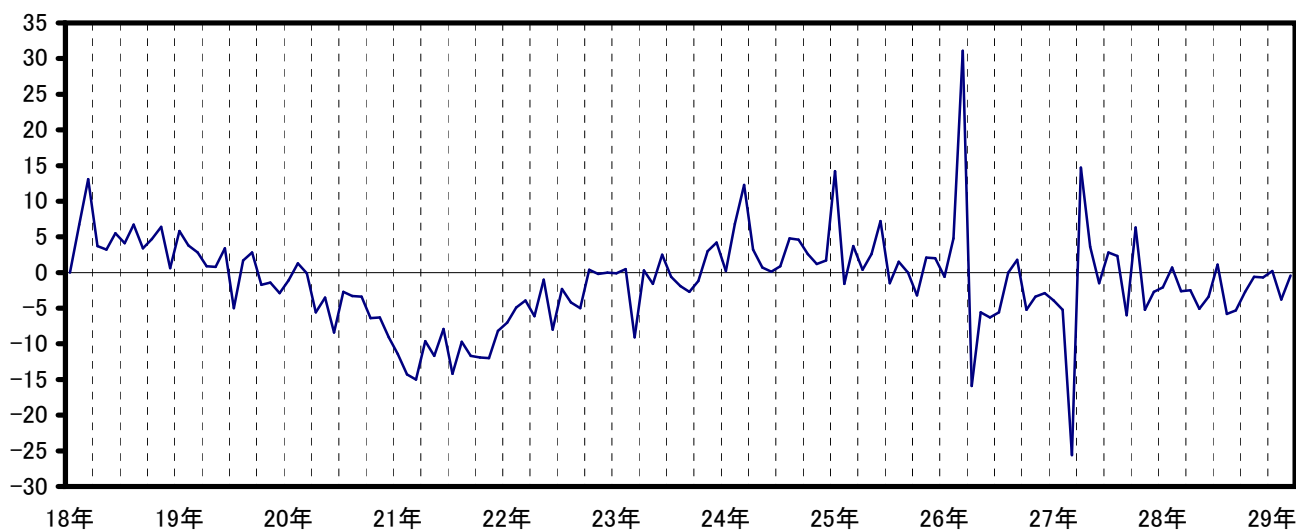
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
衣料品	▲12.5	▲8.4	▲5.2	▲2.2	▲3.8	▲2.5	▲7.3	▲6.8
うち紳士服・洋品	▲23.0	▲9.7	▲6.3	▲4.0	▲5.5	▲2.4	▲5.3	▲14.6
婦人服・洋品	▲10.2	▲7.8	▲4.3	▲1.5	▲3.3	▲2.0	▲8.3	▲5.5
子供服・洋品	▲15.4	▲18.3	▲7.1	▲4.2	▲4.7	▲7.3	▲3.5	▲7.7
身の回り品	▲4.2	▲4.6	▲1.8	4.3	5.9	6.3	▲2.1	3.0
家庭用品	▲1.9	▲2.1	▲17.1	2.6	0.8	▲6.5	▲7.5	▲8.7
食料品	2.5	▲4.9	▲1.6	0.5	▲0.3	▲4.8	▲3.0	0.4
雑貨	▲4.5	0.3	8.4	▲0.7	1.6	13.2	2.8	14.8
うち美術・宝飾・貴金属	▲21.4	▲16.0	4.9	▲6.9	▲18.0	24.1	▲9.3	13.6

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

3月 = 67,348百万円

\*前年同月比： 3.2%増

(県内92家電大型専門店、1,762コンビニエンスストア、449ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は67,348百万円で、前年同月比 3.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 0.8%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 2.1%増）が5か月ぶり、コンビニエンスストア（同 3.4%増）が9か月連続、ドラッグストア（同 5.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
販売額(百万円)	69,029	61,540	64,309	62,796	73,732	63,347	57,543	67,348
前年同月比(%)	▲0.4	2.2	2.7	2.4	2.0	2.7	▲0.1	3.2
うち 家電大型専門店(%)	▲11.7	2.5	4.3	▲0.7	▲1.9	▲2.0	▲0.4	2.1
コンビニエンスストア(%)	1.3	3.2	3.7	3.2	3.8	3.5	0.7	3.4
ドラッグストア(%)	3.5	3.1	2.0	2.6	4.6	4.4	0.0	5.3
ホームセンター(%)	▲2.5	▲3.8	▲0.2	1.7	▲3.8	2.0	▲2.9	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	2.6	3.6	2.6	2.3	2.7	0.4	3.1

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

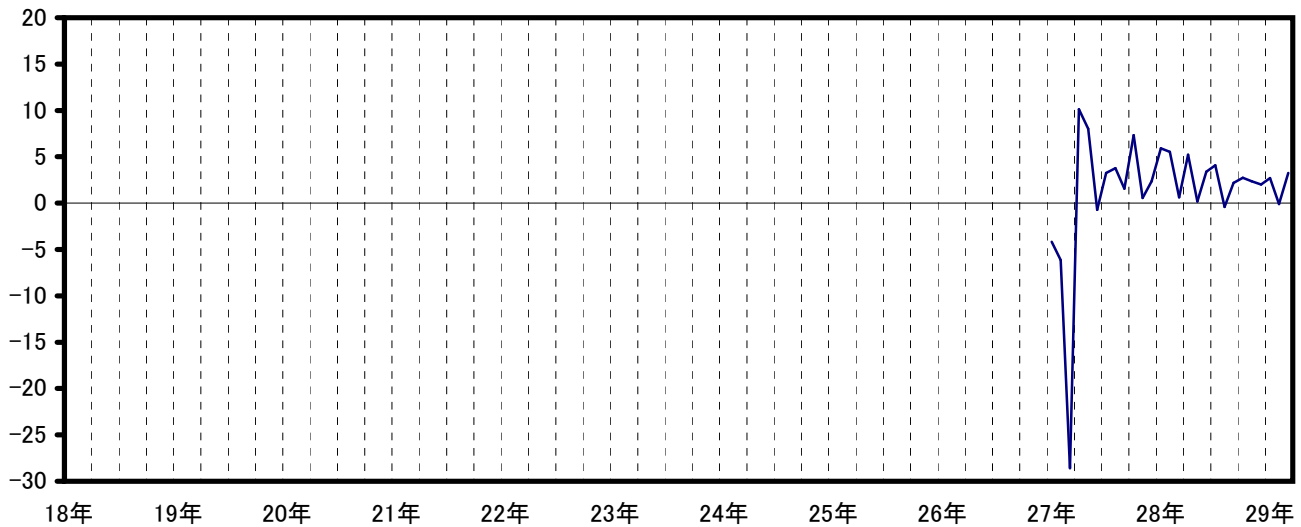
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省





#### (4) 自動車(新車)新規登録台数

3月 = 24,398台

\*前年同月比：10.7%増

(乗用車、軽自動車合計)

##### <概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は24,398台(前年同月比10.7%増)となり、5か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比17.5%増)が8か月連続、軽自動車(同2.3%増)が6か月ぶりに前年実績を上回った。

##### <最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
登録台数(台)	11,137	16,342	12,513	13,638	13,544	14,916	17,905	24,398
前年同月比(%)	2.3	2.8	▲2.8	4.6	2.7	1.1	4.0	10.7
(参考)全国前年同月比(%)	2.9	▲0.7	▲0.1	8.8	8.1	4.4	8.2	9.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

##### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

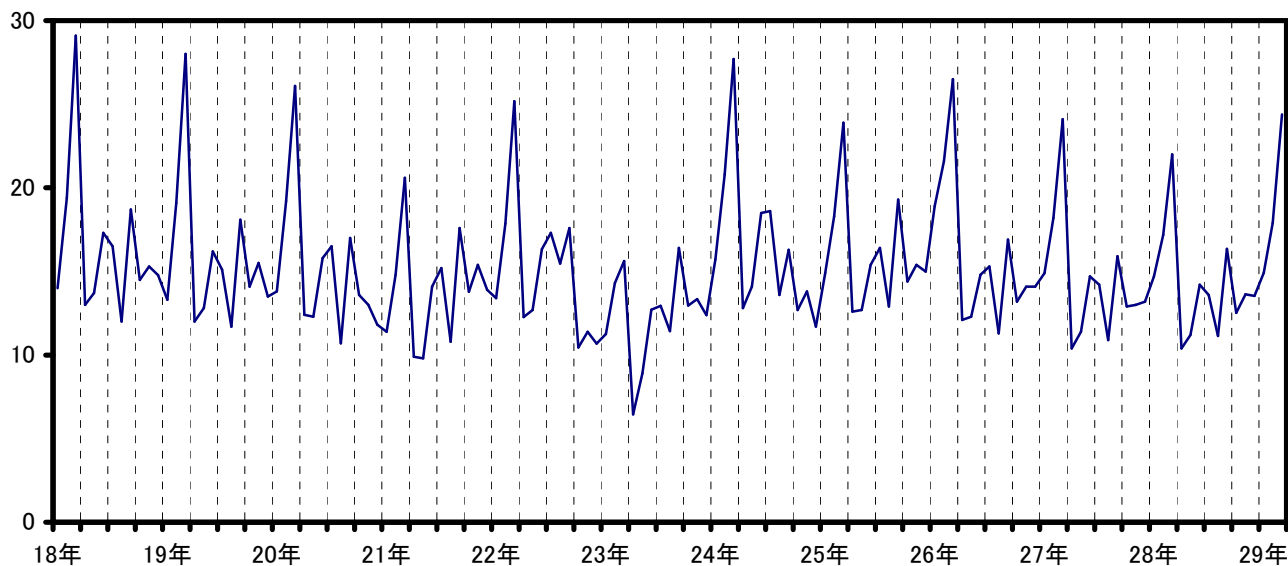
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
全乗用車	2.3	2.8	▲2.8	4.6	2.7	1.1	4.0	10.7
乗用車	3.3	3.8	0.2	11.7	8.7	9.9	10.5	17.5
軽自動車	1.0	1.7	▲6.6	▲3.8	▲4.8	▲9.1	▲3.3	2.3

<資料>県税務課

##### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

3 月 = 1,806 戸

\*前年同月比： 4.2%減

### <概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,806戸で、前年同月比 4.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 94.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 13.3%減）が2か月ぶり、貸家（同 27.6%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

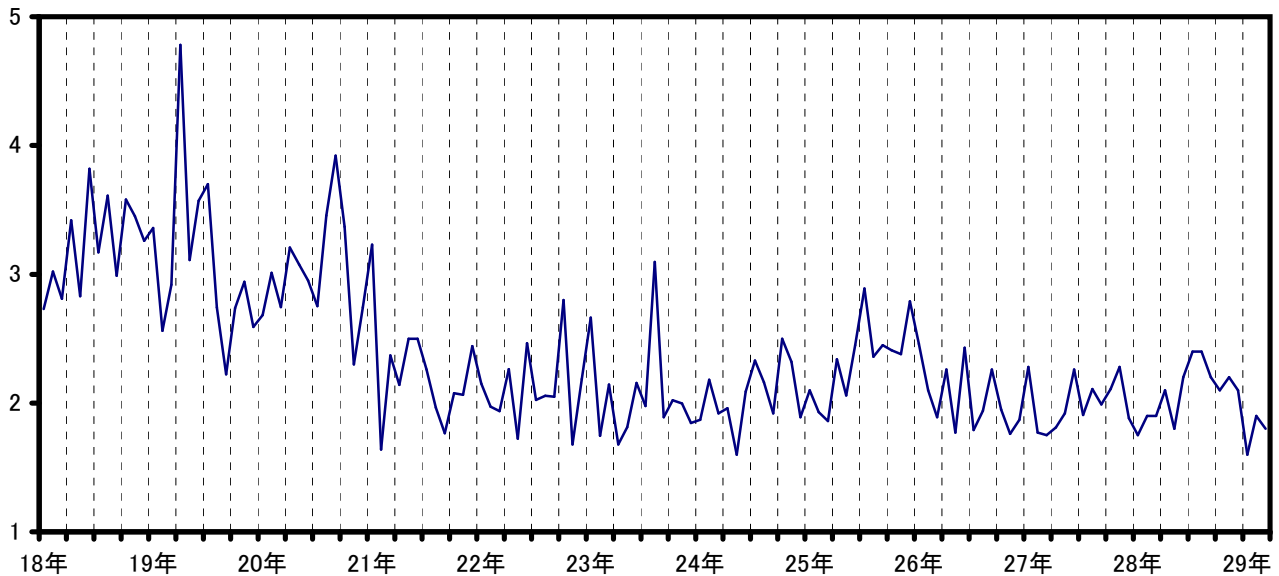
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
戸数（戸）	2,405	2,179	2,084	2,213	2,073	1,645	1,931	1,806
前年同月比（%）	14.3	9.7	▲ 1.4	▲ 2.9	10.1	▲ 6.2	1.9	▲ 4.2
うち持家（%）	7.4	6.0	▲ 3.9	▲ 14.5	7.3	▲ 2.4	28.5	▲ 13.3
貸家（%）	10.9	63.3	▲ 14.4	19.4	28.0	▲ 24.7	▲ 5.7	▲ 27.6
分譲住宅（%）	50.4	▲ 43.9	48.3	▲ 3.6	▲ 1.3	32.0	▲ 38.9	94.0
(参考)全国前年同月比（%）	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	▲ 2.6	0.2

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

3月 = 16,089百万円

\*前年同月比： 7.2%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は16,089百万円で、前年同月比7.2%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は235件で、前年同月比40.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
金額(百万円)	29,515	50,377	19,292	14,204	16,623	10,454	12,463	16,089
前年同月比(%)	14.8	47.9	▲40.0	▲10.0	8.2	16.6	91.7	7.2
年度累計前年同月比(%)	4.8	13.1	4.9	3.9	4.2	4.6	6.8	6.9
件数(件)	885	1,445	657	657	772	434	321	235
前年同月比(%)	11.7	27.4	▲30.1	▲11.7	▲4.1	▲1.6	101.9	40.7
年度累計前年同月比(%)	4.3	10.5	3.1	1.2	0.6	0.4	2.7	3.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

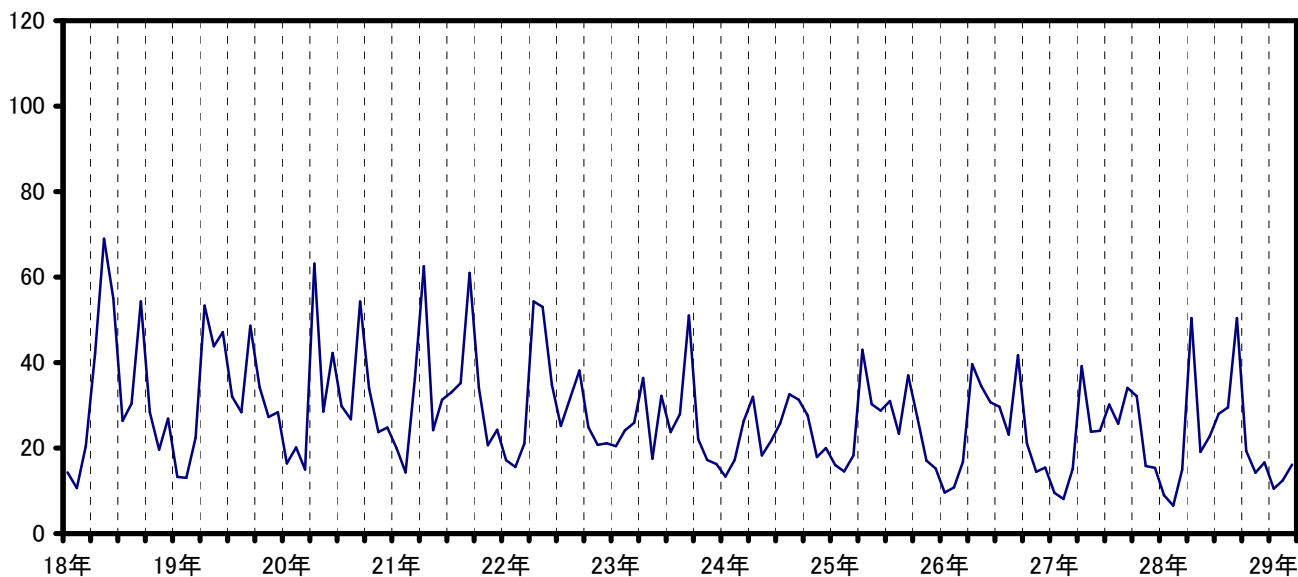
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
国	121.1	162.8	▲55.6	▲35.0	54.0	110.8	34.6	▲0.7
独立行政法人等	▲98.3	578.0	▲37.1	291.0	649.2	72.5	17.1	▲92.2
県	44.7	20.0	1.9	5.5	▲24.0	19.1	519.7	184.2
市町	0.0	41.9	▲42.0	▲20.6	12.7	▲23.0	7.3	7.9
地方公社	▲41.9	▲43.5	292.5	▲62.4	8.7	—	—	—
その他	11.3	▲63.5	▲93.3	▲10.3	▲0.3	197.5	▲21.3	50.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業(前年度比 12.6%増)で増加、非製造業(同 4.0%減)で減少し、全産業(同 5.3%増)では増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業(前年度比 7.2%増)で増加、非製造業(同 0.4%減)で減少し、全産業(同 5.3%増)では増加の計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は89,233㎡で、前年同月比 42.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (計画)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.9) 2.2	5.3
	全国	(▲1.4) 0.4	▲1.3
製造業	県	(▲3.0) 5.9	12.6
	全国	(▲3.3) 2.1	4.4
非製造業	県	(▲2.8) ▲2.2	▲4.0
	全国	(▲0.4) ▲0.5	▲4.4

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (計画)	29年度 (計画)
全産業	県	1.6	5.3
	全国	(▲1.5) 1.1	1.5
製造業	県	2.8	7.2
	全国	(▲1.5) 1.5	3.7
非製造業	県	▲1.6	▲0.4
	全国	(▲1.5) 0.7	▲0.7

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年3月調査)」

### <最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	186,104	171,169	77,988	142,379	107,916	154,653	82,466	89,233
前年同月比（%）	105.9	35.1	▲45.6	29.2	24.3	7.6	▲0.6	▲42.2
(参考) 全国前年同月比（%）	16.7	10.8	▲3.7	10.4	5.4	21.9	8.1	▲12.5

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年12月	29年3月	29年6月 (予測)
全産業	8	12	0
製造業	7	13	2
非製造業	10	12	▲2
(参考) 全国・全産業	7	10	4

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年3月調査)」

## 5 輸出

**3月 = 197,389百万円**

\*前年同月比： 10.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は197,389百万円で、前年同月比 10.1%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 2.5%減）が3か月連続、科学光学機器（同 14.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、エアコン（同 15.8%増）、二輪自動車類（同 5.0%増）がいずれも3か月連続、自動車（同 135.7%増）が5か月連続、自動車の部分品（同 0.9%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 0.1%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 16.5%増）が5か月連続、EU向け（同 19.6%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	145,025	164,290	157,565	163,368	188,982	149,185	182,936	197,389
前年同月比(%)	▲ 8.9	▲ 3.0	▲ 8.6	5.9	5.3	3.9	8.3	10.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
原動機	2.7	▲ 5.5	▲ 11.6	11.8	6.1	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 2.5
エアコン	28.9	▲ 11.9	▲ 11.1	▲ 3.4	▲ 12.1	4.3	6.8	15.8
自動車	▲ 41.0	87.9	▲ 17.1	26.8	65.0	66.5	196.7	135.7
自動車の部分品	▲ 2.8	11.2	1.3	15.4	10.2	12.0	10.0	0.9
二輪自動車類	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 3.3	16.5	▲ 0.8	3.0	6.2	5.0
科学光学機器	▲ 12.2	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 5.6	6.7	▲ 6.6	16.1	▲ 14.2

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
アジア	1.0	4.7	▲ 5.6	11.2	10.2	7.8	15.1	16.5
米国	▲ 14.7	▲ 7.0	▲ 6.4	▲ 7.3	13.3	▲ 8.4	▲ 14.6	▲ 0.1
EU	1.7	0.3	0.1	32.2	0.0	24.9	49.9	19.6

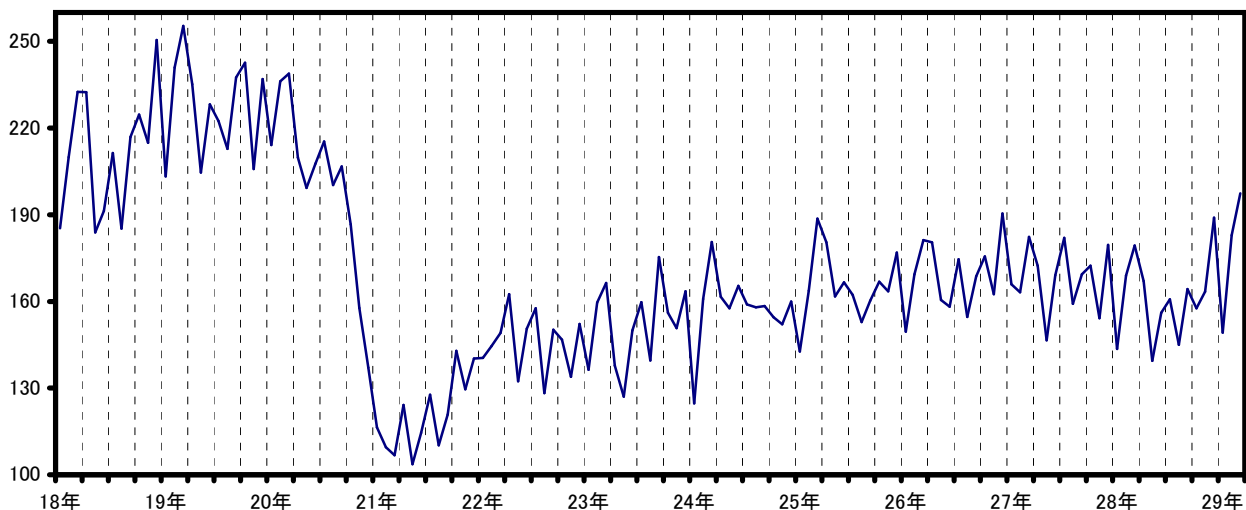
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

3月 = 90,651百万円

\*前年同月比： 16.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は90,651百万円で、前年同月比 16.7%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 20.3%減）が3か月連続、原動機（同 29.5%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類（同 20.2%増）が2か月連続、木材（同 20.6%増）が15か月ぶり、パルプ（同 28.8%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 23.7%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 19.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 13.4%増）が3か月ぶり、EUから（同 9.7%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	75,304	73,501	70,647	81,755	77,184	84,538	71,969	90,651
前年同月比(%)	▲4.5	▲9.8	▲16.9	0.2	▲1.5	▲2.5	▲5.7	16.7

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
魚介類	—	—	—	—	—	▲4.9	3.7	20.2
木材	▲8.3	▲7.5	▲13.1	▲30.0	▲16.0	▲9.5	▲11.3	20.6
パルプ	▲23.9	▲13.3	▲27.8	▲46.8	▲6.7	▲11.1	5.6	28.8
紙類及び同製品	1.1	30.2	▲6.7	2.6	23.2	▲3.0	▲32.2	▲20.3
原動機	169.5	13.1	▲6.4	15.8	76.1	58.1	180.2	▲29.5
自動車の部分品	▲0.3	▲1.7	▲28.5	13.5	▲7.9	▲29.1	▲8.6	23.7

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

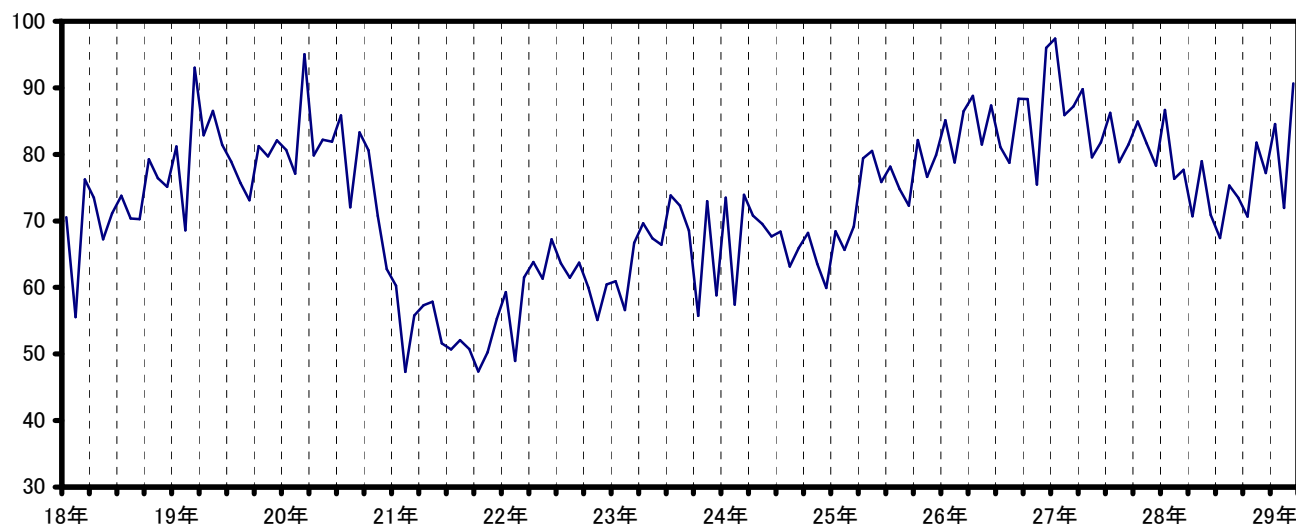
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
アジア	0.2	▲8.7	▲19.6	▲5.9	4.4	▲0.3	▲14.5	13.4
米国	▲9.4	▲22.6	▲16.6	▲28.2	17.5	▲17.1	11.5	▲19.8
EU	▲4.4	▲31.7	▲1.7	6.1	▲10.4	▲12.6	38.5	9.7

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

2月 = 94.3

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.8%増

\*前年同月比(原指数) : 4.3%増

#### <概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は94.3(季節調整済指数)で、前月比1.8%増となり、4か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.3%増と2か月連続で前年を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.8%減)が2か月連続、化学(同8.0%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.4%減)、食料品・たばこ(同10.9%減)がいずれも6か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同11.4%増)が4か月連続、輸送機械(同21.8%増)が3か月連続で前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
指数	88.3	90.0	89.7	86.9	89.3	92.5	92.6	94.3
前月比(%)	▲0.6	1.9	▲0.3	▲3.1	2.8	3.6	0.1	1.8
前年同月比(%)	▲5.4	4.5	▲1.2	▲5.8	▲0.9	▲4.4	3.4	4.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.8	4.6	0.9	▲1.3	4.6	3.0	3.2	4.8

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲4.6	11.5	▲4.1	▲12.5	▲5.9	3.1	▲2.4	▲1.8
電気機械工業	2.5	15.9	2.2	▲9.6	3.2	7.0	9.7	11.4
輸送機械工業	▲11.9	▲4.0	▲7.3	▲9.5	▲0.3	3.7	12.7	21.8
化学工業	▲4.8	8.7	6.4	▲1.8	▲4.6	▲31.2	▲5.3	▲8.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.2	6.7	▲3.0	▲1.0	▲3.7	▲3.0	▲1.8	▲2.4
食料品・たばこ工業	▲4.9	1.3	▲1.2	▲5.2	▲3.8	▲10.2	▲6.2	▲10.9

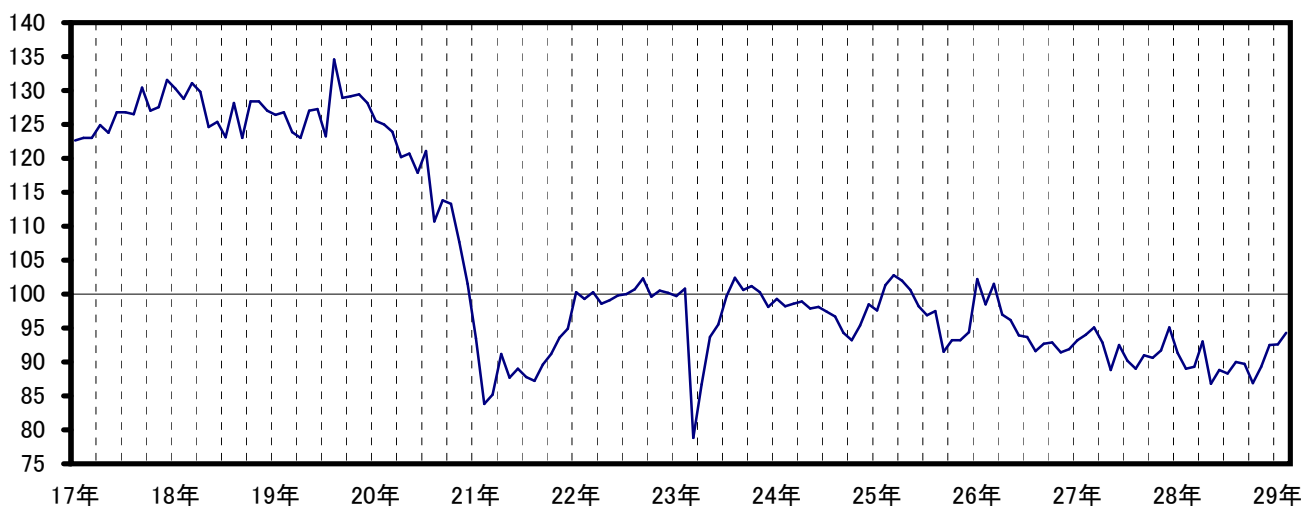
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

2月 = 122.7

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 7.6%増

\*前年同月比(原指数) : 1.9%減

### <概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は122.7(季節調整済指数)で、前月比は7.6%増と2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は1.9%減と6か月連続で前年を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「意図せざる在庫減局面(景気拡大初期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比9.1%増)が11か月連続、食料品・たばこ(同4.2%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同15.4%減)、化学(同3.3%減)がいずれも6か月連続、輸送機械(同12.4%減)が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.4%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
指数	119.5	119.3	115.7	114.7	112.8	109.2	114.0	122.7
前月比(%)	2.7	▲0.2	▲3.0	▲0.9	▲1.7	▲3.2	4.4	7.6
前年同月比(%)	4.1	2.1	▲2.0	▲4.8	▲7.3	▲11.3	▲6.2	▲1.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.8	▲1.8	▲2.0	▲3.0	▲4.8	▲5.0	▲4.3	▲3.3

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	6.0	0.8	6.6	7.1	13.0	18.7	15.9	9.1
電気機械工業	26.9	21.3	▲8.5	▲16.5	▲20.8	▲18.2	▲18.0	▲15.4
輸送機械工業	▲11.8	▲19.6	▲34.2	▲42.2	▲46.9	▲51.6	▲30.8	▲12.4
化学工業	3.5	0.1	▲1.6	▲3.5	▲4.2	▲12.6	▲8.9	▲3.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.1	1.5	0.0	7.2	0.5	▲1.4	▲2.7	▲0.4
食料品・たばこ工業	▲2.8	▲9.0	0.4	▲3.5	▲7.2	▲7.3	2.1	4.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**3 月 = 1.47倍**

\*前月比（季節調整値）：0.05ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

3月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.47倍となり、前月を0.05ポイント上回った。また、4年10か月ぶりに全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比6.6%増）は14か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比9.6%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同11.4%増）が14か月連続、製造業（同14.9%増）が17か月連続、情報通信業（同9.4%増）が3か月ぶり、運輸業・郵便業（同2.3%増）が5か月連続、医療・福祉（同10.9%増）が7か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同14.3%増）が13か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
県	1.35	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.42	1.47
全 国	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
建 設 業	6.0	8.7	1.9	14.3	5.6	13.5	15.7	11.4
製 造 業	16.7	27.5	20.9	15.7	16.5	12.0	12.0	14.9
情 報 通 信 業	▲ 52.6	▲ 28.7	▲ 39.2	▲ 13.2	2.2	▲ 19.8	▲ 12.7	9.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	3.9	2.4	▲ 3.7	18.8	1.0	17.1	16.8	2.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	57.1	▲ 10.9	19.0	2.6	▲ 5.0	4.9	▲ 2.7	▲ 9.6
医 療 ・ 福 祉	▲ 3.9	1.6	13.5	10.2	7.2	9.4	5.1	10.9
サービス業（他に分類されないもの）	29.9	2.2	12.9	62.7	21.6	15.9	32.9	14.3
合 計	11.0	4.2	7.9	16.4	9.0	10.3	9.2	6.6

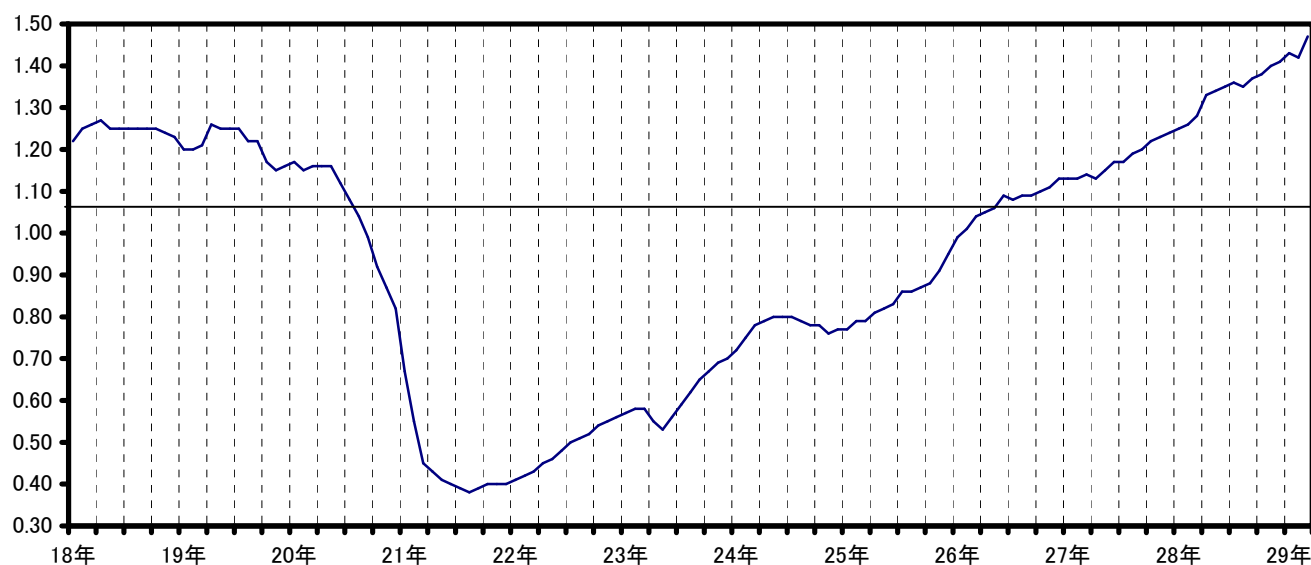
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 10,036人

\*前月比: 1.2%減

\*前年同月比: 14.0%減

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は10,036人で、前月比は1.2%減と7か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は14.0%減と44か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成28年10~12月)の完全失業率は2.5%で、前期(28年7~9月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
実人員(人)	13,302	12,696	12,170	11,593	10,924	10,725	10,163	10,036
前月比(%)	5.7	▲4.6	▲4.1	▲4.7	▲5.8	▲1.8	▲5.2	▲1.2
前年同月比(%)	▲10.2	▲12.7	▲11.5	▲10.8	▲11.3	▲14.4	▲15.6	▲14.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.7	▲8.0	▲9.3	▲7.9	▲9.3	▲8.6	▲9.5	▲7.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8

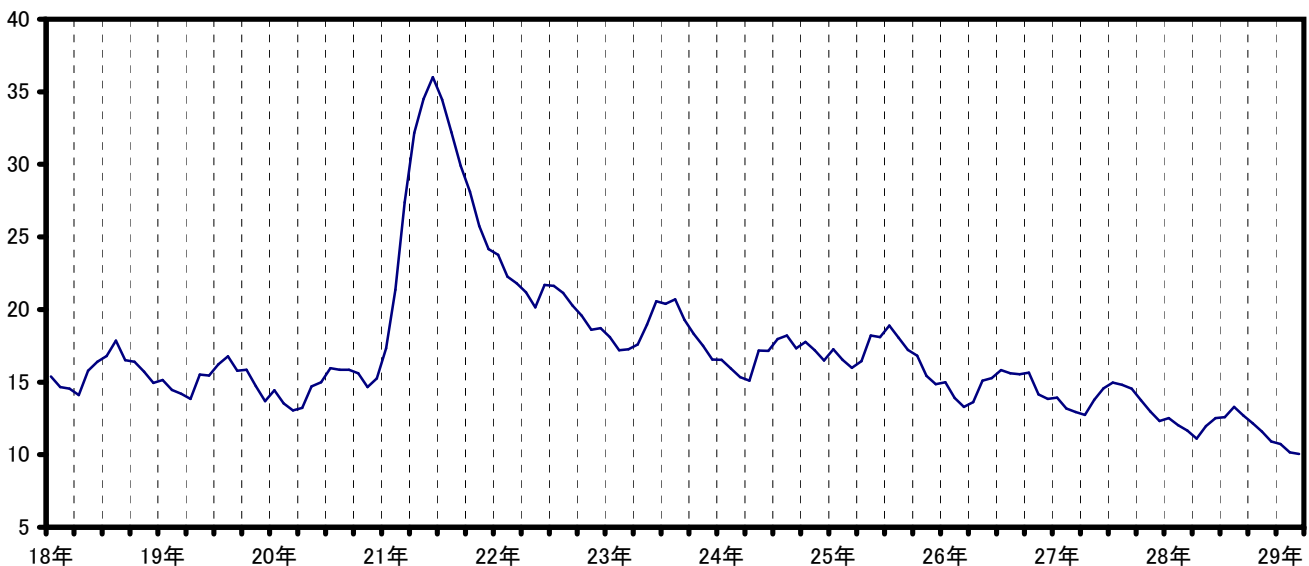
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

2月 = 103.2

\*前月比(季節調整済指数): 4.2%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 0.7%増

#### <概況>

2月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は103.2(季節調整済指数)で、前月比4.2%増となった。また、前年同月比(原指数)は0.7%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比14.4%減)が4か月連続、卸売業・小売業(同23.1%減)が8か月連続、その他のサービス業(同23.6%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同4.8%増)が2か月ぶり、情報通信業(同0.1%増)が6か月ぶり、運輸業・郵便業(同1.7%増)が2か月連続、医療・福祉(同14.4%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
指数	103.1	97.7	101.6	102.7	101.3	99.8	99.0	103.2
前月比(%)	▲1.4	▲5.2	4.0	1.1	▲1.4	▲1.5	▲0.8	4.2
前年同月比(%)	5.9	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	▲2.5	▲1.6	▲1.5	▲1.5	▲2.2	▲0.2	0.6

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月
建設業	13.7	▲9.7	0.0	15.4	▲5.1	▲14.7	▲19.4	▲14.4
製造業	2.2	▲1.1	0.0	▲4.5	▲5.9	2.6	▲0.2	4.8
情報通信業	▲9.1	1.3	▲13.6	▲10.9	▲8.4	▲6.1	▲1.1	0.1
運輸業・郵便業	2.9	▲2.1	3.2	▲5.3	▲6.9	▲6.5	5.1	1.7
卸売業・小売業	▲26.8	▲17.6	▲29.6	▲31.1	▲34.2	▲24.7	▲13.5	▲23.1
医療・福祉	4.3	▲4.4	9.1	▲7.2	▲23.5	7.0	3.4	14.4
その他のサービス業	3.2	13.2	▲7.2	5.3	11.8	▲6.3	▲27.9	▲23.6
調査産業計	5.9	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7

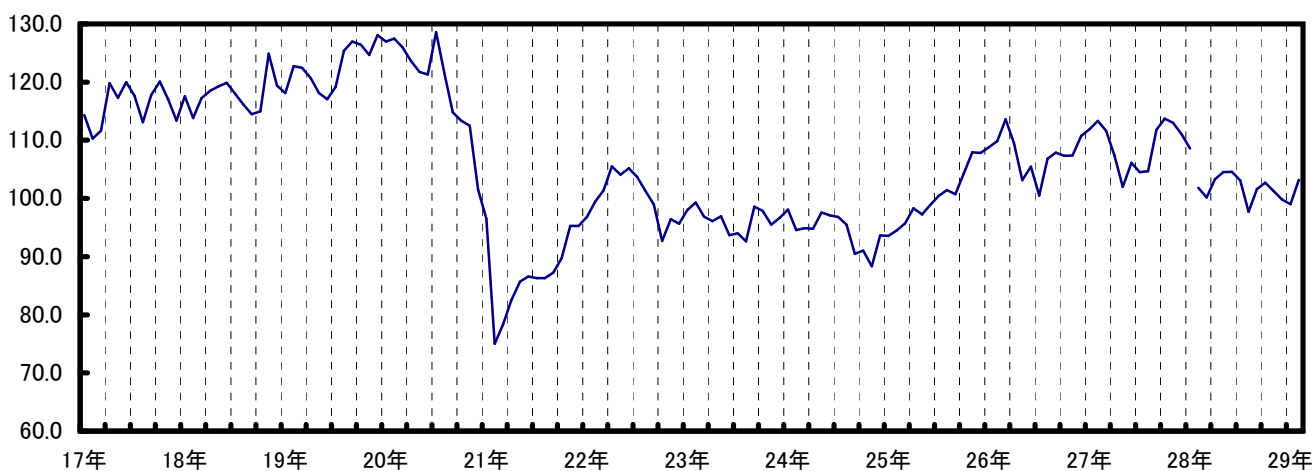
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

4 月 = 98.4

\*前 月 比: 0.2%上昇

(平成27年=100)

\*前年同月比: 2.1%上昇

#### <概 況>

4月の国内企業物価指数は98.4となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は2.1%の上昇となった。

#### <最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	96.1	96.0	96.4	97.1	97.7	98.0	98.2	98.4
前 月 比 (%)	0.1	▲ 0.1	0.4	0.7	0.6	0.3	0.2	0.2
前年同月比 (%)	▲ 3.3	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.2	0.5	1.1	1.4	2.1

\*平成27年=100

&lt;資料&gt;日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

3 月 = 139,752億円

\*前 月 比: 1.4%増

(銀行、信用金庫)

\*前年同月比: 1.2%増

#### <概 況>

3月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,752億円で、前月比は1.4%の増加となり、また、前年同月比は1.2%の増加となった。

	29年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
貸出残高(億円)	135,981	137,793	136,468	137,258	139,099	137,805	137,857	139,752
前 月 比 (%)	0.0	1.3	▲ 1.0	0.6	1.3	▲ 0.9	0.0	1.4
前年同月比 (%)	2.7	2.2	2.1	2.4	1.3	1.3	1.6	1.2

&lt;資料&gt;日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

3 月 = 2.128%

\*前 月 差: 0.010ポイント減

(県内地銀4行総平均)

\*前年同月差: 0.017ポイント減

#### <概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.128%で、前月から0.010ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.017ポイントのマイナスとなった。

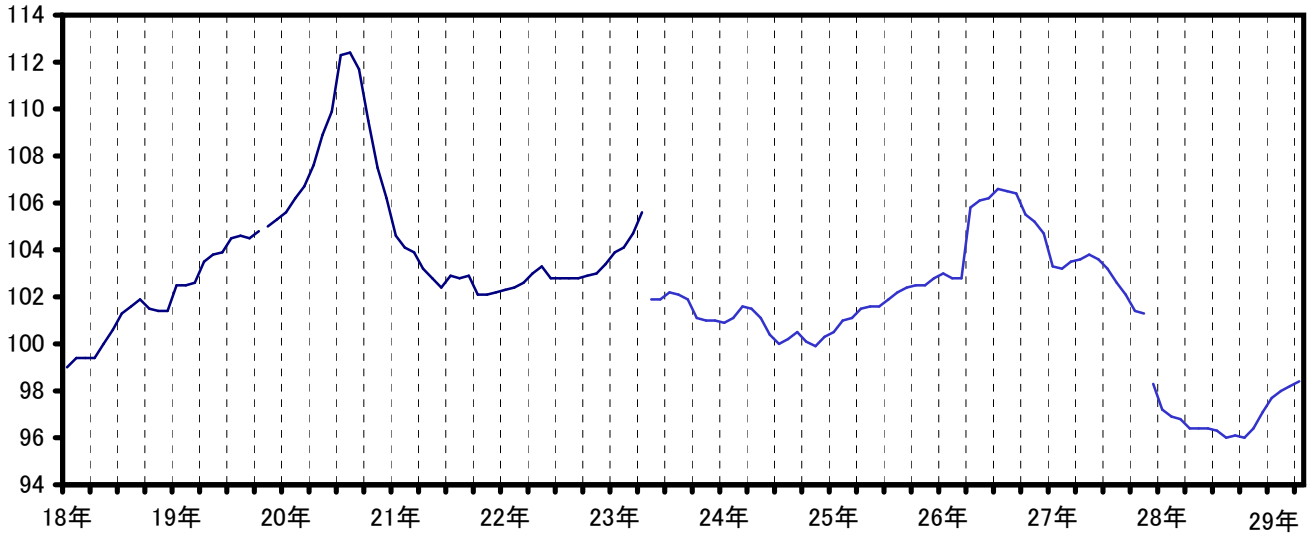
	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
貸出約定金利(%)	2.154	2.144	2.152	2.146	2.129	2.134	2.138	2.128
前月差(ポイント)	▲ 0.001	▲ 0.010	0.008	▲ 0.006	▲ 0.017	0.005	0.004	▲ 0.010
前年同月差(ポイント)	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.014	▲ 0.022	▲ 0.021	▲ 0.025	▲ 0.026	▲ 0.017

&lt;資料&gt;日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

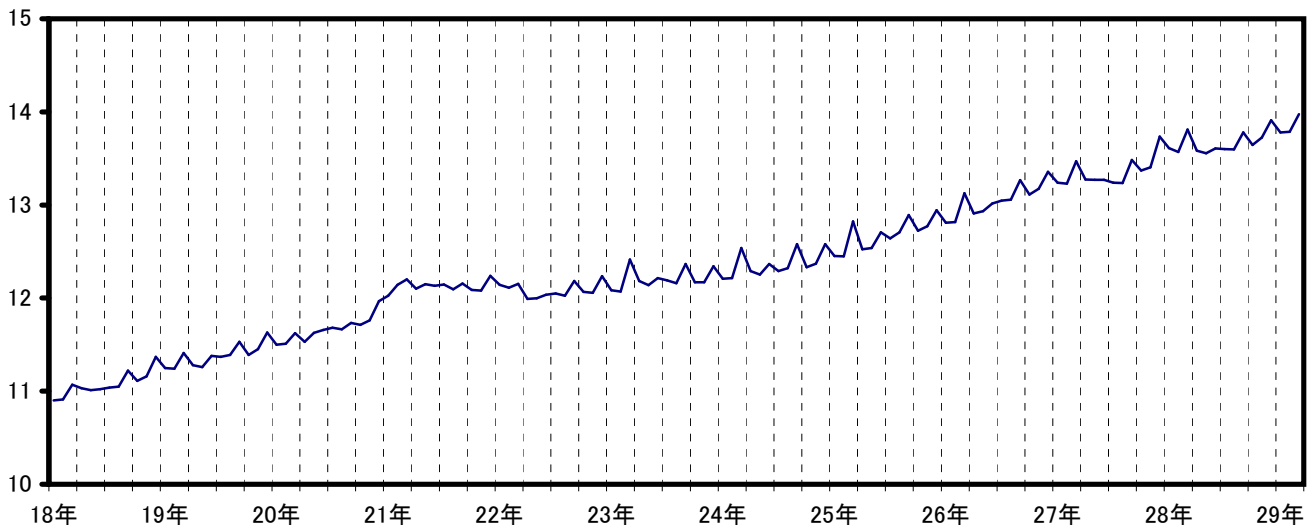
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



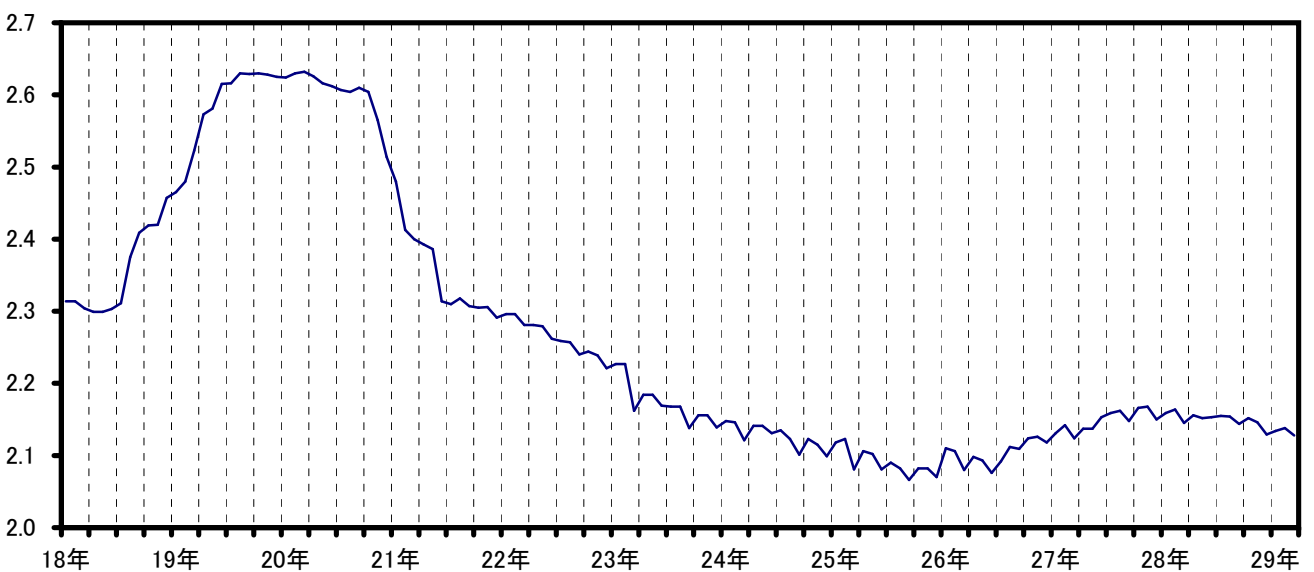
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****3月 = 26,040百万円**

\*前年同月比： 4.3%増

## &lt;概況&gt;

3月の保証承諾は、金額が26,040百万円（前年同月比 4.3%増）と4か月ぶりに前年実績を上回り、件数は2,412件（同 8.0%減）と24か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	22,578	23,295	17,045	19,296	24,335	14,049	18,177	26,040
前年同月比（%）	10.9	▲ 10.1	▲ 14.2	0.0	▲ 9.4	▲ 8.3	▲ 2.4	4.3
保証件数（件）	2,172	2,319	1,781	1,888	2,363	1,504	1,818	2,412
前年同月比（%）	▲ 2.7	▲ 12.0	▲ 16.9	▲ 6.3	▲ 10.7	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 8.0

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****4月 = 110.06円/ドル**

\*前月差： 2.95円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 0.18円安

## &lt;概況&gt;

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は110.06円で、前月と比べて2.95円の円高となり、4か月連続の円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	102.04	103.82	108.18	115.95	114.73	113.06	113.01	110.06
前月差（円）	0.77	1.78	4.36	7.77	▲ 1.22	▲ 1.67	▲ 0.05	▲ 2.95
前年同月差（円）	▲ 18.18	▲ 16.24	▲ 14.36	▲ 5.89	▲ 3.52	▲ 1.96	▲ 0.06	0.18

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****4月 = 23件**

\*前年同月比： 91.6%増

## &lt;概況&gt;

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は23件（前年同月比 91.6%増）、負債総額は6,604百万円（同 287.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の73.9%を占め、233か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

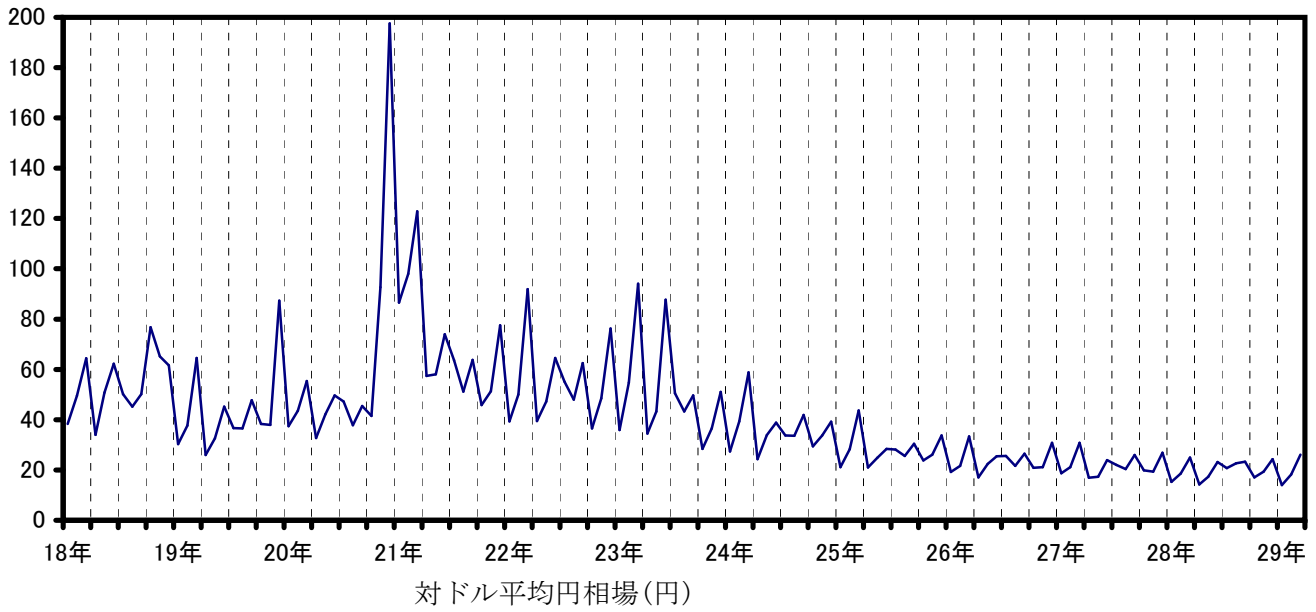
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
倒産件数（件）	22	13	19	35	16	18	31	23
前年同月比（%）	▲ 18.5	▲ 27.7	▲ 20.8	84.2	▲ 15.7	▲ 33.3	24.0	91.6
うち不況型倒産件数（件）	19	12	19	34	16	17	30	17
負債総額（百万円）	2,315	1,631	2,049	5,704	1,687	7,787	7,258	6,604
前年同月比（%）	▲ 30.7	▲ 54.5	▲ 61.8	60.7	▲ 46.1	164.0	150.3	287.5

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

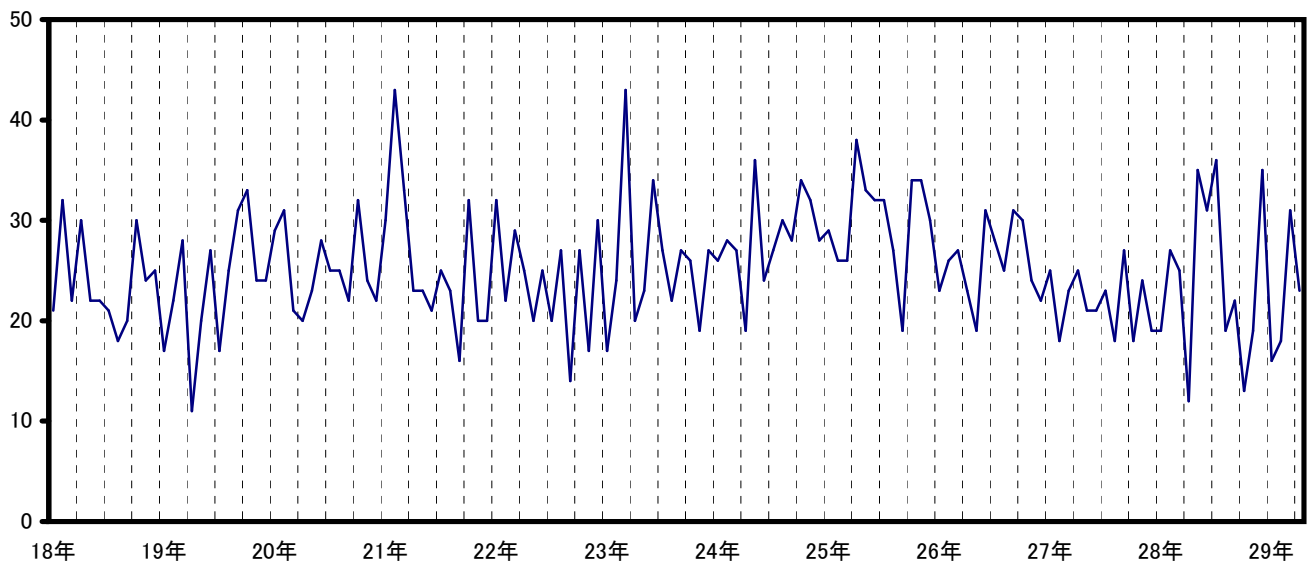
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成29年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>3月の国内二輪車生産台数は、72,016台（前年同月比 23.6%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、14,383台（同 24.3%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,173台（同 21.5%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,621台（同 15.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、49,839台（同 27.5%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、41,179台（同 2.1%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、47,357台（同 7.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>3月の自動車国内生産台数は931,137台（前年同月比 4.7%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は419,546台（同 3.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が5か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は393億8,700万円（前年同月比 0.7%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は452千台（同 7.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは816千台（同 6.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は70千台（同 5.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>2月の携帯電話と公衆用 P H S を合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,507千台（同 5.1%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,012千台（同 36.5%増）と、2か月連続で前年を上回った。単月のスマートフォン比率は67.2%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,426億9,800万円（前年同月比 22.8%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は902億3,800万円（同 39.0%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが504億4,400万円（同 98.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。内需は524億6,000万円（同 2.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「イギリスのEU離脱問題や米国大統領の政策など、あまりにも世界の変化が大きく、日本企業にとっては難しい時代が到来したのではないだろうか」、「一部にメキシコ向け機械設備の出荷延期がみられたが、アメリカ、中国向け自動車関連設備を主体に堅調に推移し、前年並みを維持している」などの声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億3,200万円（前年同月比 10.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが25億5,400万円（同 14.4%減）、国内向けが24億7,800万円（同 6.8%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,011台（同 4.3%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,116台（同 1.7%増）、グランドピアノが895台（同 16.0%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,919台（同 17.0%減）、国内向けが1,385台（同 18.5%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,262千トン（前年同月比 0.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は1,271千トン（同 0.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。板紙は991千トン（同 1.0%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、708千トン（同 0.7%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、167千トン（同 2.3%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け996千箱（前年同月比 0.2%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は697千箱（同 0.1%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は491千箱（同 2.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は299千箱（同 0.4%減）と、13か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,254千箱（同 1.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、1,321千㎡（前年同月比 9.7%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,270千㎡（同 9.6%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、51千㎡（同 9.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、34千㎡（同 8.7%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、63億1,408万円（前年同月比 8.9%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、498億5,594万円（同 0.6%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店の売上高は、降雨日は前年に対して少なかったものの、対前年比 2.1%減と低くなった平均気温が春物衣料品の売行きに影響し、同 0.4%減とわずかに前年を下回る結果となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同 18.6%増、美術・宝飾品・貴金属が同 13.6%増と、それぞれ前年を上回ったものの、主力の衣料品の同 6.8%減という不振をカバーするには至らなかった。</p> <p>県内のドラッグストアへの聞き取りでは、消費者のトレンドや季節を反映したシリアル・花粉症薬が好調で、売上を牽引した。中部地域に拠点を置く食品スーパーへの聞き取りでは、来店客数の減少や棚卸しによる商品在庫切れにより、対前年比で売上を落とす結果となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成29年3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約48万人と、前年同月比 3.8%減であった。下旬に前線を伴った低気圧の影響で季節外れの雪が中山間地に降ったことや桜の開花の遅れなどが影響したものと考えられる。</p> <p>なお、主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約78万台と、前年同月比2.4%増であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	16,815	13,421	13,818	20,095	24,249	19,835	19,174	22,068	27,781
前年同月比(%)	▲10.4	▲11.1	▲26.4	2.5	40.6	6.7	▲5.7	▲3.9	22.9
KD輸出額(百万円)	677	762	672	577	719	716	712	705	651
前年同月比(%)	▲25.9	7.7	▲15.4	▲10.2	▲0.8	▲22.4	▲3.8	▲1.9	▲7.7

### <楽器>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,817	3,309	3,851	3,696	3,635	3,294	3,082	3,371	3,723
前年同月比(%)	▲10.3	1.7	4.2	▲10.7	▲0.5	▲10.2	▲8.0	▲6.5	▲2.6

### <缶詰>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	1,031	983	1,069	1,026	970	815	825	866	996
前年同月比(%)	2.5	14.9	18.0	5.1	0.4	▲7.2	0.2	3.9	▲0.2
うち水産缶詰(%)	▲0.7	10.7	9.7	0.4	▲3.5	▲12.4	▲3.0	▲3.6	▲0.1
農畜産缶詰(%)	12.1	30.6	51.7	20.8	13.3	8.0	5.3	25.1	▲0.4
飲料缶生産高(千ケース)	8,479	7,428	7,146	6,562	6,641	5,985	4,933	5,761	7,254
前年同月比(%)	▲1.8	3.6	0.2	3.9	▲1.9	▲7.4	14.2	12.4	1.1

### <繊維>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	1,133	1,135	1,458	1,522	1,693	1,694	1,563	1,379	1,321
前年同月比(%)	▲1.4	3.4	8.2	0.5	▲5.8	▲3.1	▲3.1	▲4.7	▲9.7
小幅織物(千㎡)	28	26	30	31	32	33	33	35	34
前年同月比(%)	▲22.3	▲20.8	▲24.7	▲21.4	▲21.3	▲14.4	▲0.2	▲3.9	▲8.7

### <観光>

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
観光施設(10施設)入込 (千人)	363	552	369	431	349	280	287	268	484
前年同月比(%)	19.4	1.2	▲22.8	▲6.2	▲11.4	7.4	1.8	2.7	▲3.8
有料道路(5路線)通行量 (千台)	755	862	677	711	701	741	678	688	777
前年同月比(%)	6.5	1.8	▲2.2	2.7	2.1	5.6	4.7	0.9	2.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

## 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

## 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

# 静岡県月例経済報告

平成29年5月号 通巻493号

発行 静岡県経済産業部  
平成29年5月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>